
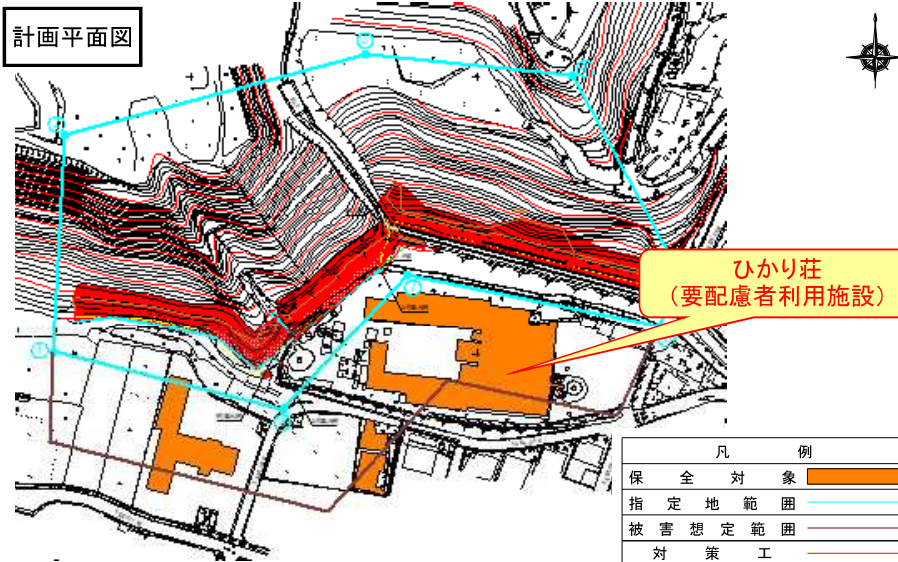




# 砂防事業 事後評価結果

担当課 : 砂防防災課

## 事業の概要

担当課長名 姫氏原 健司

事業名	急傾斜地崩壊対策事業	事業区分	急傾斜地崩壊対策事業	事業主体	徳島県										
事業箇所	徳島県美馬市脇町	箇所名	新町(2)急傾斜地崩壊危険区域												
事業概要	もたれ式擁壁 L=244m, 落石防護柵 L=238m														
事業の目的・必要性	<p>当箇所は、美馬市脇町に位置するがけ高46m、勾配36°の急傾斜地である。                  保全対象に人家2戸、要配慮者利用施設である養護老人ホームひかり荘、市道が含まれる。                  このことから当事業では、急傾斜地崩壊防止施設の設置等を行うことによって、急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命を保護し、もって民生の安定と国土の保全とに資することを目的とする。</p>														
総事業費	204百万円														
事業概要図・写真	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;">  <p>施工箇所</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>計画平面図</p> <p>ひかり荘 (要配慮者利用施設)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保 全 対 象</td> <td><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: orange; border: 1px solid black;"></span></td> </tr> <tr> <td>指 定 地 範 囲</td> <td><span style="display: inline-block; width: 15px; border-bottom: 2px solid cyan;"></span></td> </tr> <tr> <td>被 害 想 定 範 囲</td> <td><span style="display: inline-block; width: 15px; border-bottom: 2px solid red;"></span></td> </tr> <tr> <td>対 策 工</td> <td><span style="display: inline-block; width: 15px; border-bottom: 2px solid red;"></span></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 20%; text-align: right;">  </div> </div>					凡 例		保 全 対 象	<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: orange; border: 1px solid black;"></span>	指 定 地 範 囲	<span style="display: inline-block; width: 15px; border-bottom: 2px solid cyan;"></span>	被 害 想 定 範 囲	<span style="display: inline-block; width: 15px; border-bottom: 2px solid red;"></span>	対 策 工	<span style="display: inline-block; width: 15px; border-bottom: 2px solid red;"></span>
凡 例															
保 全 対 象	<span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: orange; border: 1px solid black;"></span>														
指 定 地 範 囲	<span style="display: inline-block; width: 15px; border-bottom: 2px solid cyan;"></span>														
被 害 想 定 範 囲	<span style="display: inline-block; width: 15px; border-bottom: 2px solid red;"></span>														
対 策 工	<span style="display: inline-block; width: 15px; border-bottom: 2px solid red;"></span>														
完成写真															

## 事業評価結果

評価項目	評価内容
①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画工期H26～H30 → 実施工期H26～R2</li> <li>当初B/C4.4 → 事後B/C20.6</li> </ul>
②事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>擁壁等の設置により、がけ崩れからの不安が払拭され、安全に暮らせる環境が整備された。</li> <li>要配慮者利用施設である養護老人ホームを保全することにより、地域の防災力向上に寄与した。</li> <li>土砂災害警戒区域が指定され、警戒避難体制の促進を図ることができたことにより、ハードソフト両面の相乗効果を得た。</li> </ul>
③事業実施による環境の変化	地形・地質の改変を最小限とする工法選定によって環境に配慮しており、現在、環境の変化は認められない。
④社会経済情勢の変化	土地利用や保全対象に変化は無く、事業の必要性は確保されている。
⑤課題と今後の事業への反映	要配慮者利用施設の保全や緊急輸送路の整備など、事業効果の高い箇所から重点的に整備し、災害時においても安全かつ安心できる生活基盤の確保に貢献する。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	当初	平成26年	4.4	161	工事費、調査費	712	人家2戸、ひかり荘
	事後	令和7年	20.6	360	工事費、調査費	7,420	人家2戸、ひかり荘

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。